



# No.193

2025.10月



## CONTENTS

### 9月定例会

- 議案を審議 ..... 3~4  
第3回定例会を開催  
決算特別委員会を設置
- 一般質問 ..... 6~8  
5人が登壇・町長に見解を求める
- 委員会レポート ..... 9~11
- 特集「田中小学校 子ども議会体験」...12~13
- 元気なグループ紹介 ..... 14  
「三木町将棋同好会」 代表 石原 敏行

# 三木町 議会だより



三木で舞いまい 夏まつり

<http://www.town.miki.lg.jp/>



▲平井小学校体育館

# 9月 定例会

## 一般会計補正予算(9月)の主な内容

財産管理費 (カーナビに対するNHK放送受信料)	134万円
いちごのまちプロジェクト (プロモーション)	207万円
いちごのまちプロジェクト (販路拡大・担い手確保)	427万円
税務総務費 (公図地番検索システム更新業務)	352万円
学校施設整備事業 (平井小屋内運動場屋根防水改修工事)	1,161万円

## 一般会計補正予算(第4号)

補正前の金額	132億7,729万円
補正額	8億760万円
補正後の金額	140億8,489万円



また、令和6年度一般会計などの歳入歳出決算認定を審議する決算特別委員会を設置した。

令和7年第3回定例会は、9月3日から11日までの9日間の会期で開催され、一般会計補正予算などの8議案のほか、教育長及び教育委員の任命や、人権擁護委員候補者の推薦を原案どおり可決した。

主な補正は、物価高騰などの影響による平井小学校体育館の屋根防水改修に1161万円余の工事費の追加や、県の地域活力向上のための市町等総合交付金を活用した「いちごのまちプロジェクト」への経費措置など。

一般質問には5人が登壇し、執行部の考えをただした。

**平井小学校体育館の屋根防水改修工事  
物価高騰などのため工事経費を追加**

# 議案を審議

## 第3回定例会

職員の育児休業等に関する  
条例の一部改正

職員の勤務時間、休暇等  
に関する条例の一部改正

ココが変わった

部分休業の取得形態が選択可能となるとともに、非常勤職員も常勤職員と同様に、取得に係る子の年齢が小学校入学前までに拡大される。  
また、休業等の周知や意向確認の措置等により、子育て世代の職員を支援する。

三木町土地開発事業の調整  
に関する条例の一部改正

ココが変わった

令和3年に静岡県で発生し

た盛土の崩落による災害を受け、本条例の適用範囲から盛土規制法の許可及び届出の対象を除外する。

### 三木町児童館設置条例の廃止

白山文化センター施設整備事業に伴い、併設されている白山児童館を廃止するため、本条例を廃止する。  
廃止後は、白山文化センターにおいて児童館の役割を担う。



▲解体される白山文化センター

## 補正予算

### 一般会計補正予算(第4号)

30事業総額8億760万円の補正について審議した。補正後の予算総額は、約140億8489万円

① いちごのまちプロジェクト  
(プロモーション)

県の交付金決定により、「いちごのまち三木町」プロモーションに係る経費を措置  
207万円

② 学校施設整備事業

物価高騰などの影響による平井小学校体育館屋根防水改修工事の経費を追加  
1161万円

③ いちごのまちプロジェクト  
(販路拡大・担い手確保)

県の交付金を活用し、「いちごのまち三木町」地域ブランドの確立を図るための経費を措置  
427万円

問 渡辺議員

財政調整基金の減少傾向について、今後の見通しは。

答 政策課長

認定こども園や白山文化センター整備、小中学校の改修など大型事業が控えている。

また、物価や人件費の上昇も重なり、今後の財政状況は厳しくなる見込み。

限られた財源を必要な事業に絞って投資し、身の丈に合った財政運営を行う。

問 鈴木議員

平井小学校体育館屋根防水改修工事の予算増額の理由は。

答 教育総務課長

入札不調の要因として、物価高騰や事業者側の諸事情もあったと考えられる。

従来の防水シートから耐用年数の長いガルバリウム鋼板を採用するにあたり厚みのある種類へ変更したことで、工事費が増加したが、長期的な維持管理の観点から合理的な選択と考えている。



## 後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

子ども・子育て支援金制度の円滑な施行に向けたシステム改修経費を追加。財源には国支出金を充当する。

233万円

## 子ども・子育て支援金制度

2026年4月から、医療保険制度に上乗せする形で、すべての加入者から毎月一定額を徴収し、それを少子化対策の財源として活用する新たな制度。

## 特別委員会

### 決算特別委員決まる

令和6年度一般会計及び各特別会計などの決算書・監査委員意見書が、9月3日の本議会に提出され、決算特別委員会を設置した。

10月下旬より、5回程度の委員会を開催し、費用対効果を含め、各予算が適正に執行されているかなどを慎重に審査した上で、次年度予算編成に対する提言をまとめることとした。

委員長	中川 和樹
副委員長	鎌倉 大祐
委員	渡辺 達実
委員	友保 陽子
委員	岡 昌吾
委員	福家 昭三
委員	川波 礼子
委員	溝渕 裕子

人

事

### 教育委員会教育長

間嶋 浩氏の任命に同意



令和7年4月就任 2期目  
大字平木（63歳）

### 教育委員会委員

串田 佳応氏の任命に同意



令和3年12月就任 2期目  
大字田中（68歳）

### 人権擁護委員

岡 真一氏の推薦を適任



令和5年1月就任 2期目  
大字田中（71歳）

六車 茂敏氏の推薦を適任



令和5年1月就任 2期目  
大字上高岡（67歳）

渡邊 圭子氏の推薦を適任



令和5年1月就任 2期目  
大字下高岡（70歳）

酒井 孝純氏の推薦を適任



令和8年1月就任 1期目  
大字鹿庭（63歳）



# 定例会 提出議案への各議員賛否表

○賛成 ●反対 ー議長 欠(欠席)

議案番号・議案名		採決	鎌倉大祐	溝淵裕子	川波礼子	福家昭三	岡昌吾	友保陽子	安西進	中川和樹	森本晃司	市原信夫	鈴木宏明	小島重俊	富田修司	渡辺達実	筒井米市
第3回定例会																	
議案第1号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	欠	○	○	○
議案第2号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	欠	○	○	○
議案第3号	三木町土地開発事業の調整に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	欠	○	○	○
議案第4号	三木町児童館設置条例の廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	欠	○	○	○
議案第5号	令和7年度三木町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	欠	○	○	○
議案第6号	令和7年度三木町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	欠	○	○	○
議案第7号	令和7年度三木町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	欠	○	○	○
議案第8号	令和7年度三木町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	欠	○	○	○
議案第9号	教育委員会教育長の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	欠	○	○	○
議案第10号	教育委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	欠	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	欠	○	○	○
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	欠	○	○	○
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	欠	○	○	○
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	欠	○	○	○
発議案第1号	決算特別委員会の設置	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○

市原信夫	鎌倉大祐	筒井米市	渡辺達実	富田修司	小島重俊	鈴木宏明	森本晃司	中川和樹	安西進	友保陽子	岡昌吾	福家昭三	川波礼子	溝淵裕子	議員氏名	第3回定例会(9月)
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/3	議員出欠表 (本会議のみ) ○は出席 ●は半欠 ×は欠席
○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/9	
○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/11	

# 一般質問

QRコードで一般質問の動画を  
ご覧いただけます

質問者	主な質問事項	ページ
わたなべ たつみ 渡辺 達実	◇ 戦後 80 年、平和な町をめざす思いは	6
なかがわ かずき 中川 和樹	◇ 校区の見直しについての考えは	7
かまくら だいすけ 鎌倉 大祐	◇ 自主防災組織活動補助金の活用状況は ◇ 民生委員の担い手不足対策を	7
ふけ しょうぞう 福家 昭三	◇ 井戸水枯渇は生存権侵害では	8
みぞぶち ゆうこ 溝渕 裕子	◇ 排外主義、差別を許さない町の姿勢を ◇ 有料ホーム等に入所後も紙おむつ給付の継続を	8

## 平和への思い・平和教育

**問** 戦後80年、平和な町をめざす思いは

**答** 恒久平和に向けた取組を推進していく



渡辺 達実 議員

**答** 町長  
争いのない平和で安全な世界の実現は、人類共通の願いである。しかしながら、この願いに反し、世界各地で紛争が多発しており、多くの方が犠牲になっていることに心を痛めている。世界中の紛争が、一日でも早く終息に向かうことを心より

**問** 多くの犠牲者を出した過去の戦争。戦争体験した人の多くが高齢化し、戦争の実像が空洞化しようとしている。ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルによるパレスチナ・ガザ地区への無差別攻撃。世界中の人たちが平和への思いを強くしている。  
町民に対して、平和に向けた思いや、子どもたちへの平和教育にかける思いを問う。



▲庁舎 1 階「原爆パネル展」

願っている。  
本町では、平和な町づくりへの取組として、戦没者追悼式の開催、「非核・平和の町」の宣言、「原爆パネル展」の実施、「原水爆禁止国民平和大行進」への賛同など、世界平和を訴えている。  
本年 1 月には、被爆体験者が語る戦争の悲惨さや平和の大切さについて、研修会を実施した。  
また、各小学校において、校外学習として広島原爆ドームを訪問するなどの平和学習に取り組んでいる。

## 小中学校の見直し

**問** 校区の見直しについての考えは

**答** 検討委員会などの意見を求め、丁寧に論議を進める



中川 和樹 議員

つぶやき

節約と  
言いつつ膨らむ  
借金簿

**問**

少子高齢化、学校施設の老朽化、本町の将来の財政などを軸に、結論は急がず、将来のために校区の見直しについて議論を始めるべきでは。

**答** 教育長

学校の統廃合や校区の見直しは、教育環境の最適化を考える上で重要な選択肢の一つだが、地域コミュニティの核としての機能を併せ持つため、特に地域や保護者の心情、子どもの通学距離や通学路の安全を考慮しなければならぬ。

一方、人口減少などによって、適切な教育

環境の提供が将来困難になった場合に備え、早い段階からの協議も必要である。

そのため、本年度開催予定の校区見直し検討委員会や各校の学校運営協議会に意見を求めながら、丁寧に論議を進めていきたい。

**問**

いつ、どの学校の、どの校舎から長寿命化等の改修を始めるのか。具体的な計画は。

**答** 教育総務課長

児童生徒数の推移を見据えた施設利用状況の変化などにより、長寿命化改修計画の一部を見直すとともに、学校生活に影響を及ぼすような緊急性を伴う修繕については、柔軟に対応していく。

## 防 災

**問** 自主防災組織活動補助金の活用状況は

**答** 8月末時点で4件の応募



鎌倉 大祐 議員

つぶやき

防災に  
地域のつながり  
大事やで

**問**

地域の行事と組み合わせることや実施のハードルを低くした訓練を提案しては。

**答** 総務課長

日常の交流が防災力の向上にもつながることから、例えば、地域サロンに炊き出し訓練を組み合わせるなど、日常の集いと防災訓練を一体的に実施するような有効的な活用も提案し、防災力向上を図る。

また、今後は相談時に訓練事例紹介や防災士派遣の説明を行う。

**自主防災組織活動補助金**

訓練費など規模に応じて2〜3万円を交付

## 民生委員

**問** 担い手不足対策を

**答** 続けやすい環境整備を進める

**問**

担い手不足が課題となっている。現状と対策は。

**答** 住民健康課長

本町の民生委員・児童委員は定員53名で、現在52名が活動している。活動は見守り、相談支援、研修参加など幅広い。今年、一斉改選があり21名が退任予定だが、6名は後任が未定。担い手不足の要因には、活動の負担や仕事との両立の難しさがある。今後、活動の実態がわかりやすい資料を作成するなど、続けやすい環境整備が必要と考える。



## 「水とため池」問題

**問** 井戸水枯渇は生存権侵害では

**答** 社会福祉の観点から個別対応となる



福家 昭三 議員

つぶやき

山の民  
水と福祉を  
望む声

**問** 山間部では水道設備のない地域があり、従来、井戸水で生活してきた。この

井戸水が枯渇して困窮している世帯がある。これは、憲法の保障した生存権侵害にあたるのではないか。本町の考えは。

**答** 町長

水道事業については、県広域水道企業団が所管している。町としては社会福祉の観点から考えていくべきで、個別対応になると思う。また、生活用水確保対策事業補助金制度を設けて、支援している。



▲ユルが壊れたため池

**答** 町長

以前から、ため池や農業施設に関する実態は認識している。今後、国や県に支援を要望していく。

**問**

山間部の小規模ため池の維持管理が、平成16年災害により十分できていない。ため池の管理者を所有者や受益者である農家・水利組合とするところに問題があると考えている。

ため池の多面的機能の観点からは、受益者は農家だけではない。ため池制度の改革が急務だと思うが、本町の対応は。

## 人 権

**問** 排外主義、差別を許さない町の姿勢を

**答** 現状に危機感、差別を断固否定する



溝渕 裕子 議員

つぶやき

人間にファーストもセカンドもない。すでに一緒に生きている。

**問** 外国ルーツの方

に対する根拠のないデマがSNSや選挙等を通じて拡散され、差別偏見がおおれている。

本町も様々なルーツの方が暮らしている。人権、多様性の尊重を掲げる町として、差別を許さない姿勢を発信すべきでは。

**答** 町長

外国人を排除するような主張に対し、強い怒りをもって捉えている。排他、排外主義を断固否定し、人権擁護施策の推進を図る。

## 福 祉

**問** 有料ホーム等に入所後も紙おむつ給付の継続を

**答** 財政が厳しく、給付は難しい

**問** 紙おむつ給付事業は、入所や長期入院をする

と給付対象外になる。特養など介護保険施設では、オムツは施設で賄われる。

一方、有料老人ホーム等の介護保険外施設では、利用者・家族等が購入せざるを得ない。物価高騰の折、有料ホーム等に入所後も給付の継続を。

**答** 福祉介護課長

紙おむつ給付事業は、在宅での介護支援を目的としている。

また、現在、本町では財政が厳しく、給付要件の拡大は難しい。



# 委員会レポート

## 総務建設常任委員会

令和7年8月5日

三木町生活排水処理構想に定める下水道処理区域

本構想は、公共下水道や農業集落排水施設を通じた集合処理と合併処理浄化槽による個別処理について、経済性や財政負担、普及状況等を比較検討し、処理方法を定めるもの。

現状では、農業集落排水の井上北部地区は整備完了。公共下水道は、事業計画の認可に基づき整備を進めているが、未着手である東部北地区及び東部南地区については、事業費の試算結果等により、下水道計画から除外する。

### 問 鎌倉委員

整備着手区域内において新

築する場合、下水道への接続と合併処理浄化槽のどちらかを選択することは可能なのか。また、今から下水道事業を進めるメリットはあるのか。

### 答 環境下水道担当

下水道事業認可エリア内において管渠が整備済で供用を開始している区域では、基本的には合併処理浄化槽の使用は認められない。

ただし、管渠の整備が進んでいない区域では、合併処理浄化槽の設置が可能であるが、補助金は受けられない。

メリットについては、総事業費が合併処理浄化槽より下水道での処理が有利と判定された区域では、維持管理費の観点から効率的であるが、町費負担は、下水道整備の方が大きく財政面の課題がある。

## 学校施設等整備特別委員会

令和7年7月15日

### 小学校体育館空調設備導入調査

町内4小学校の体育館（築45年以上、鉄骨造）の劣化状況を踏まえ、断熱性確保や機器選定を含む詳細な調査を令和8年2月までに実施予定。

### 問 渡辺委員

国の補助対象が古い体育館にも拡大されたが、町の財政負担の割合はどのようになっているのか。

### 答 教育総務課長

学校施設環境改善交付金の活用は可能となったが、標準額が低く、町の負担割合が大きい。そのため、緊急防災減災事業債の活用を検討しているが、来年度以降の措置は未定である。

## 学校施設の長寿命化改修

令和3年度策定の改修計画に基づき進めているが、児童数が予想以上に減少しており、令和13年度には、町全体で児童数が1000人程度となる見込みである。

老朽化が進む中、今後の推移を踏まえながら、改修計画の見直しも視野に入れて検討していく。

### 問 富田委員

各小学校の老朽化が進む中で、部分改修の計画だけではなく、建替えの必要性についてどのように考えているのか。

### 答 町長

長寿命化を現実的な選択肢としつつ、建替えも理想的ではあると認識している。

現在、資材高騰や少子化の影響もあり、体育館の空調設備の導入等の課題もあることから、計画の見直しを進めていく。

## 教育民生常任委員会

令和7年7月15日

### 認定こども園整備進捗状況

児童数の大幅な減少や資材・人件費の高騰などを背景に、実施設計の一部を見直し、修正案としての図面を作成した。

### 設計面

延床面積は約2000㎡で、園児の動線効率化を図るとともに、保育室は南・東向きに配置し、採光および通風の確保に配慮している。

可動式扉の導入により、空間の柔軟な活用が可能となり、また、年齢別のトイレ配置によって、感染予防にも寄与する設計である。

さらに、職員室から園児の動きが見渡せる構造で、安全性・利便性・衛生面に配慮した施設となっている。

### ソフト面

本年4月から月2回程度の運営協議を継続中。隣接する民有地取得に関する売買・補償契約を締結し、住宅撤去も進行中である。

6月には公立幼稚園・保育所の園長や所長から意見を聴取し、施設配置に反映している。

### 問 中川委員

省エネ法改正に沿った省エネ対策はできているのか。

### 答 こども課担当

断熱性能等は、予算の範囲内で有効な対策を検討している。また、太陽光パネルの設置を予定しており、現在、国の補助金を申請中である。



▲新こども園（イメージ図）

**問** 溝渕委員

給食の運用はどのような  
のか。

**答** こども課担当

未満児（0～2歳）及び職  
員の給食は園内に設置される  
調理場で調理し、3歳児以上  
はししの子幼稚園から配送す  
る予定である。

**問** 中川委員・溝渕委員

廃園となる施設の今後の活  
用について、どのように対応  
するのか。

**答** 町長

原則として、売却または除  
却を基本方針としているが、  
氷上幼稚園及びまんでがんふ  
れあいホームの施設は継続利  
用の方向である。まんでが  
んふれあいホームについては、  
不登校児童向けの教育支援拠  
点としての活用を検討中。

**問** 安西委員

施設統合によって、職員数  
は減るのか。

**答** 町長・教育総務課長

施設数は減るものの、年齢  
やクラス編成に応じた適正配  
置が必要。

効率化を図りつつ、質の維  
持は必要である。適正な人員  
配置を考えていきたい。

**問** 市原委員

新こども園に子育て支援セ  
ンター的な相談機能は、設置  
するのか。

**答** こども課長

ししの子幼稚園に相談機能  
を設置する予定。

新こども園でも一定の相談  
対応は可能とする方向だが、  
原則はししの子幼稚園側で対  
応する方針である。

**問** 友保委員長

新こども園で一時預かり事  
業を行う場合、保育の利用時  
間や料金の変更はあるのか。

**答** こども課担当

現在は最大24時まで利用可  
能だが、実際の利用は22時半  
までが最長。

職員負担を考慮し、利用時  
間の短縮を検討中である。

**学校給食危機管理マニュアルの策定**

給食の安全性確保のため、  
3種類の危機管理マニュアル  
を策定した。

**食物アレルギー対応マニュアル**

症状定義、対応手順、対  
応品目（卵、えび、かに、ア  
ーモンド、小麦、乳）を明記。

**異物混入対応マニュアル**

異物の定義・分類、防止策、  
発見時の対応フロー、保護  
者・報道対応の手順を規定。

**食中毒対策マニュアル**

発生時の対応手順、教育委  
員会と保健所の連携、保護  
者・報道機関への情報共有な  
どを明記。

アレルギー対応児童は現在  
2名で卵除去食を提供。その  
他60名の児童が小麦や乳製品、  
フルーツ等にアレルギーがあ  
り、家庭での対応や自己判断  
による除去が行われている。

異物混入時は連絡アプリで  
保護者に通知し、報道基準は  
異物の分類に応じて、対応し  
ている。



▲ある日の給食



# 【特集】 田 中 小 学 校 子ども議会体験

子どもたちが語る  
町の未来

田中小学校の6年生（18人）が、総合的な学習の時間「生き方学習」の授業で、議員の話を聞いたり、議場の見学、議会体験などが行われました。今回は、その様子をレポートします。

## 初めての議場

6月30日、子どもたちにとって、はじめての議場訪問です。傍聴席から全体を見渡したり、議会のネット中継を行うカメラやマイクの操作などを事務局から教わり、興味津々な様子でした。

## 私も議員になってみた

続いて行われた模擬議会では、実際の議員席に子どもたちが座り、議長・町長役も決めて議論をスタート。

テーマは「三木町を良くするためにどうすればよいか」。次々と手が上がり、なぜこう考えたのかという提案理由も添えて発言します。「三木町にスカイツリーのような観光名所を作って、たくさん



人に来てほしい」「高齢者やみんなに優しいまちづくりが大事」「大きいものを作ったら予算がなくなる」など、子どもたちそれぞれの視点から町のことを考えた意見が出されました。「なるほど！」と、私たち議員も思わずうなる場面が度々ありました。

また、議場で実際に使う投票箱を使って、投票体験も実施。投票の瞬間は、少し緊張した様子も伺えました。



## 子どもの声が、まちをつくる

後日、子どもたちが感想文を寄せてくれました。また、今回の体験で考えたことや町への要望などについて、話を聞かせていただきました。

議会が少人数で町を動かしていてすごいと思った

いろんな意見をまとめて実行するのが分かった

18歳になったら選挙に行き、自分の意見を政治に反映させたい

本物の議会を見てみたい

地域を盛り上げる活動をしてみたい

バリアフリーを広めるのが大切だと思った

田中校区に公園やコンビニがほしい

体育館にエアコンをつけて

野球ができる環境がほしい

給食のうどんは、袋麺より鍋で出るほうがおいしい



実際に議場を体験することで、子どもたちは様々な発見を持ち帰ってくれました。また、私たち議員にとっても、子どもたちの声がまちづくりに大切だということを、改めて実感しました。

今回は、田中小学校の授業の一環でしたが、今後、より多くの子どもたちが意見を発信できる場を作りたいと考えています。

昨今、投票率の低下などに見られるように、政治への関心が薄れつつある中、子どもの頃から、くらしと政治はつながっていることを感じることも大切です。子どもたちの未来が明るいものであるよう、議会はしっかりと役割を果たしていきます。



# 元気なグループ紹介

## 「三木町将棋同好会」

## 代表 石原 敏行

私がこの同好会を立ち上げ

ようと思ったのは、池戸商工センターで囲碁のメンバーがパチパチしているのを見たときでした。それから、所長さんにいろいろお聞きして友人、知人に連絡して6人でスタートしたのが平成27年1月のことでした。

私はどちらかと言えば、スポーツよりこちらの方が自分の性格にあっていると思います。

設立から10年余りになりますが、当初のメンバーで残っているのは私ともう一人の2人になりました。

現在、年に4回程度、将棋大会を実施しております。関心のある方は見学に来てください。毎週日曜日の午前中

開いています。

さて、プロの将棋界に眼を向けてみますと、藤井聡太さんを中心に多くの

若手が活躍しております。さらには、海外でタイトル戦を実施して、世界への普及にも力を入れております。

一方、香川県出身のプロ棋士を見るに、小林健二九段が引退した後、残っているのは藤本渚六段、一人になりました。また、プロの卵として奨励会に



2人在籍しており、年齢制限がありますが、今後の彼らの健闘を祈りたい。

## お気軽に議会を傍聴しませんか

本会議の傍聴人の定員は、30人です。

●お問い合わせは議会事務局へ  
☎(087) 891-3311

次の定例会は、12月上旬の予定です。

インターネット中継サイトはこちら



議  
会  
だ  
よ  
り  
は  
私  
た  
ち  
が  
編  
集  
し  
て  
い  
ま  
す。  
編  
集  
委  
員  
長  
溝  
淵  
裕  
子  
同  
副  
委  
員  
長  
友  
保  
陽  
子  
同  
委  
員  
森  
本  
晃  
司  
同  
委  
員  
中  
川  
和  
樹  
同  
委  
員  
岡  
昌  
吾  
同  
委  
員  
福  
家  
昭  
三  
同  
委  
員  
川  
波  
礼  
子  
同  
委  
員  
鎌  
倉  
大  
祐

編  
集  
を

終  
え  
て



JAZZの素晴らしさは、その自由さと多彩さにある。楽譜に縛られず、奏者の感性や経験がそのまま音に表れるため、同じ曲でも毎回異なる表情を見せてくれる。即興演奏は予測できない展開を生み出し、その瞬間にしか味わえない特別な音楽をつくり出す。また、スウィングやビバップ、モードなど多様なスタイルは、時代や文化の息吹を映し出し、常に進化を続けている。アドリブのやり取りはまるで会話のようで、演奏者同士が互いに響き合い、新たな物語を紡いでいる。聴く側も自由に感情を重ね、解釈できるため、誰にとっても自分だけのジャズ体験が広がる。JAZZは素晴らしい音楽だ。

(中川 和樹)

